

熊本県と熊本地域11市町村は、 新たな地下水の保全目標となる 「第二期熊本地域地下水総合保全管理計画」を策定しました。

《熊本地域11市町村:熊本市、菊池市、宇土市、合志市、大津町、菊陽町、西原村、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町》

「第二期熊本地域地下水総合保全管理計画」の概要

① 目的

住民、事業者及び行政が一体となって取り組む共通の地下水保全目標を設定し、それぞれの役割の中で地下水保全の取組を通じて、水量と水質の両面にわたって地域全体で地下水を管理する。

② 期間

令和8年度(2026年度)～
令和12年度(2030年度)

③ 概要

(1)長期的なビジョンとして、
熊本地域が目指す地下水保全の姿(将来像)を設定

熊本の宝である地下水の恵みを守り継いでいく熊本地域

- 全ての人(住民、事業者、自治体)が、公共水である地下水を守り育てていく担い手である自覚を持ち、一人ひとりが主体的に地下水保全に取り組む
- 地下水に支えられた住民生活の向上と地域経済の発展の両立を図る
- 「豊か」で「安全」で「美味しい」地下水を、熊本のブランドとして守り育てていく

(2)保全目標を設定

- 目標採取量(上限) 1億6,700万 m^3
- 目標涵養量 4,820万 m^3
- 地下水質目標

・カドミウム及びその化合物等
熊本県地下水保全条例に基づく「地下水質保全目標」
・硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素
第二期熊本地域硝酸性窒素削減計画の水質目標のうち、「環境基準超過率」及び「水道水質基準超過率」

この目標を達成することで通常利用される第1、第2帯水層における地下水量は殆ど変化しない見込み

「第二期熊本地域地下水総合保全管理計画」に沿って、
熊本の宝である地下水保全の取組を確実に進めていきます。

「第二期熊本地域地下水総合保全管理計画」の基本的施策

① 地下水を大事に使う【節水・他水源利用】

例)節水の呼びかけ、水道配水管等の漏水対策 など

② 地下水採取量に応じた地下水涵養を行う【涵養対策】

例)水田湛水事業の推進、許可採取者による地下水涵養 など

③ 涵養域の保全に取り組む【涵養域の確保】

例)域内農業の支援、敷地内涵養の推進、涵養域確保対策の検討 など

④ 地下水質の保全に取り組む【水質保全】

例)地下水質の監視、硝酸性窒素削減対策の推進 など

⑤ 県民運動で地下水を守る意識を醸成する【県民運動・情報発信】

例)イベントの開催、地下水に関する教育・情報発信の実施 など

水田オーナー制度による
企業関係者の田植え風景



生物多様性に配慮した
雨水浸透施設(雨庭)



熊本県保健環境科学研究所
による分析

